

令和3年度 後期学校評価分析

教職員自己評価から

1 教育目標について

学校教育目標だけでなく、全体的に数値がやや下がっているのは、前期よりも教職員の児童理解が進み、児童への指導が行き渡ったことで、より厳しく評価している結果ととらえる。したがって、学校教育目標についてはおおむね適切と考える。しかし、「児童の清掃状況」では数値が3を下回っていることから、現状を再確認し、改善する取り組みを行いたい。

2 教育課程・学習指導・特別活動・学校行事について

教育課程の「日課表」が、前期から課題となっている。月曜日に設定される繰上日課は、5校時の学年と6校時の学年が集団下校で同時刻に帰宅するための日課であるが、給食後の時間割が学年で違いがあるため、昼休みが制限されたり、全校での清掃がなくなったりするため、生活リズムがつかみにくいとの意見がある。

また、集団下校時刻が守られない課題も前期からある。集合時刻前の時間のなさが理由となっていたため、1学期に3時05分だった集合時刻を3時10分に変更したが、心配された通り、満足できる改善となっていないことを一人一人が反省する必要がある。

本校では、授業改善の取り組みで、主体的・対話的で深い学び実現のために「やまなしスタンダード」の徹底を進めている。「主体的な学習態度の形成」で評価が3を下回ったのは、授業改善を進める過程において、担任を中心に児童の主体的な取り組みや対話の質に、より高度な課題意識を持ったためと考える。

校外学習での見学場所について、今年度実施の反省を来年度につなげていく必要がある。内容と地域の特色、児童の実態をふまえて再検討する。

評価結果から、評価の基準がダブルスタンダードとなっている印象を受ける。コロナ前の教育活動と比較して評価するのではなく、感染症対策をしながらできる限りで実施する現状での教育活動自体を評価することが、改善可能な評価になる。

3 生徒指導について

日常の対応や情報交換、ケース会議等、教職員全体で取り組むことの成果が感じられる結果となっている。今後もこれまで取り組んできた指導を継続し、特にいじめ根絶の意識を維持したい。

4 安全管理（防災・防犯など）について

コロナ対策で実施できなかった避難訓練も、2学期は概ね実施できた。特に、水害時の避難タイムテーブルを作成して、引き渡しのための予備訓練までできたことが大きな前進だった。保護者にも周知して災害に備える。来年度の引き渡し訓練は、水害を想定して行う予定である。

登下校の状況に課題がある。集合時間を守ることも含め、PTA保護者安全パトロールの報告からも、児童の下校のしかたを不安に思う声が度々届いている。特に、集団下校では、長年培われてきてしまった乱れた雰囲気がある。この雰囲気を改善しなければならないが、教職員や保護者がそれぞれ口頭で指導しても劇的に改善するものではないため、学校、保護者、地域が一体となって計画的に取り組む必要がある。

5 保健管理について

2学期前半は、山梨県内でも感染が拡大したため、感染症対策を厳しく行う中での学校運営だった。御家庭の御理解、御協力をいただき、新型コロナウイルス感染のない学校生活を送ることができている。新たな株の出現もあるので、3学期も気を緩めずに保健管理を徹底していく。

不安や悩みを抱える児童や保護者に、スクールカウンセラーを紹介している。スクールカウンセラーには、月1回の来校時に、児童の観察や面談を分刻みで行ってもらっている。

6 特別支援教育について

夏季休業中には、講師を招き、特別支援教育の校内研修会を全教職員で行った。教科指導と学級経営の両輪を適切に行える技量が身につけられるように、各自または全体で研修を重ねることが必要である。

教職員全体で基本的な考え方を共通理解して対応することが大切なので、情報交換会、ケース会議は有効な機会となっている。特性に応じた指導により、児童は落ち着いた学校生活を送ることができる。児童の健全やかな成長のために、性急に結果を求めず、時間をかけて温かく成長を支援したい。

7 組織運営について

コロナ対策により、GIGAスクール構想（Global and Innovation Gateway for All）の略で、「全ての人にグローバルで革新的な入口を」という意味が込められている。）実現に向けて急ピッチな体制づくりが求められている中、それ以外の学習活動や教師の研修内容に影響が出ている。今年度は、校内研究でタブレット端末を効果的に授業で活用することに取り組んできている。「PC学習をもっとしてほしい」のような声もあるが、学校では、タブレットは「文房具」の一つと表現され、それ自体が学習の目的ではない。これまで教師が作り上げてきた授業に、無理に導入しても逆効果となることも十分ある。そのため、校内研究で活用方法を試行錯誤してきている。教職員全員がタブレット端末を扱えるように、職員会議のペーパーレス化の試みも行っているが、意見欄のような課題もある。

校内研究でICT活用に取り組むため、児童にとってわかりやすい授業のための研究・実践は、教員個別の授業研究により管理職が評価し、指導・助言を行っている。

8 保護者、地域住民との連携について

コロナ下で保護者、地域の方々の来校が制限される中、動画配信や短時間での参観等、できる形で児童の学びを見ていただくようにしてきた。一定の成果があったが、やはり直接会って話したり、様子を見ていただいたりすることが必要である。今後もコロナの動向をみながら、最善を尽くしたい。

一方、日々、学級担任が保護者と連絡を密にとっていくことは有益であり、信頼関係構築のために今後も続けていく。

9 施設・設備

経年劣化で故障したり、破損したりしたものにはすぐ対応して改善してきているが、日々の使い方に課題がある。使用後は防犯や防災、持続可能な開発目標SDGs（Sustainable Development Goals）を意識して、戸締まり、照明・ファンヒーター・加湿器・エアコン・扇風機等をOFFにすることを徹底する。

児童アンケートから

前期同様に、「学校が楽しい」と回答した児童が98%いる。否定的回答の2%の児童の支援をしていくとともに、すべての児童が「楽しい」と言える学校に向けて今後も努めていく。

あいさつについては、前期と数値自体は変わらないが、声は大きくなってきていると感じる。朝のあいさつ委員や児童会本部の取り組みや、11月の市でのあいさつ運動による地域の方々のご協力、あいさつへの指導の成果が表れていると感じる。あいさつできるよい雰囲気が少しずつつくり上げられている。

課題点として、「部屋や廊下で走らないこと」「読書活動」「道路を安全に歩くこと」が挙げられる。

「部屋や廊下で走らないこと」に否定的回答の児童の割合は21%で、5人に1人は走ってしまったと考えている。自分で意識していない児童も含めると、もっと多いのではないかと考えられる。安全管理のために、教職員全体で共通認識を持ち、指導する必要がある。

「読書活動」は、前期でも取り上げたが改善されていない。2学期の読書週間においても、取り組みへの教員の意識があまり高くなかった反省がある。「読書活動」は、県の教育振興基本計画の「豊かな心の育成」のための重点項目にもなっている。週に1回、家での読書を宿題として出すことを全校で決めたが、教師が読む姿を児童に見せることも必要と考える。

「道路を安全に歩くこと」は、数値上は肯定的回答が96%となっているが、日々の様子や保護者安全パトロールの報告を踏まえると実際には違う。つまり、児童が自分で意識できていないということになる。交通安全のために、集団下校の仕方も含め、重点的に指導を強化する必要がある。

学校でこまったことやいやなことがあると回答した児童のうち、そのことを先生や友達、または家の人に話せなかった児童や、クラスの人に暴力をふるわれるなどして、つらい思いをした児童、遊びの時に仲間外れにされた児童については個別に再確認し、対応する。

保護者アンケートから

「学習した文字や計算を身につけることができたか」の肯定的回答が9%下がっていて、35名が否定的回答をしている。本校では授業改善を進め、宿題の出し方も国語と算数は毎日出すと全校で確認して取り組んでいるが、まだ十分でないと言える。学習内容の確実な習得に今後も力を入れていく。

「よく読書する子になれた」は低下が止まり、やや回復傾向にある。宿題で読書を出しているからかもしれない。読書量が増えていくように、読書習慣が身につくように、学校でも継続して指導をしていくので、御家庭でも読書の時間を確保できるように協力をお願いします。

「早寝、早起き、朝ご飯」への否定的回答が22%となっていて、5人に1人の割合となっている。早起きに関して、寝坊した児童が登校班の集合時刻に間に合わず、同じ登校班の児童が待つことにつながっているケースの報告を複数受けている。特に、冬季の寒い中を待つことになると体が冷えてしまうので、集合時刻を守れるように各家庭で御指導いただく。

「歩行あるいは自転車の運転がよいマナーでできた」は、肯定的回答が91%となっているが、歩行については下校のしかたに課題があるため、学校と御家庭で改めて指導する必要がある。自転車については、学校に「児童がヘルメットを着用していない」との声が届いたので指導してきた結果、着用率が高まっている。御家庭で御協力いただいたことがよく表れている。保護者の皆様がとても協力的で、学校からお願いするとすぐに対応していただけることが非常にありがたい。

来年度に向けて、質問のしかたに答えにくいものがあるのではないかとと思われるため、質問文の表現を修正したいと考えている。